

## 地域循環型の新たな産業創出に向けて 長岡バイオエコノミー・シンポジウムを開催

長岡市は、国立研究開発法人産業技術総合研究所、市内大学・高専の「発酵」技術の研究者、県の関係機関、地元の食品企業などの協力を得て、長岡のバイオエコノミーを考えるシンポジウムを開催します。

これは、全国各地で大規模な災害をもたらす地球温暖化や、世界的な人口増加に伴う食糧・水・エネルギー不足などの課題を克服しながら、新たな産業振興と経済成長を実現する「バイオエコノミー」が世界のスタンダードになりつつある中、長岡市の地域資源や特性を活かしたバイオエコノミーの可能性を「科学」の面から探るものです。

シンポジウムでは、内閣府「バイオ戦略」の有識者を務めるちとせ研究所の藤田社長による講演のほか、産業技術総合研究所の研究者30人が来岡し、研究事例報告や市内関係者との意見交換を行います。

### 1 シンポジウムの概要

(1) 日 時 1月17日(金) 午後2時～5時30分

(2) 会 場 アオーレ長岡 市民交流ホールA、ホワイエ(長岡市大手通1丁目4-10)

(3) 内 容 詳細は別紙チラシのとおり

#### ①主催者プレゼンテーション

長岡市長、長岡技術科学大学 東学長、国立研究開発法人産業技術総合研究所 中鉢理事長

#### ②基調講演

- ・バイオベンチャー企業「ちとせ研究所」藤田社長による講演  
循環型社会により千年先まで豊かに暮らせる環境づくりを目指す「ちとせグループ」の活動紹介
- ・バイオマス産業都市の先進地である佐賀市の事例紹介

#### ③事例報告

- ・産業技術総合研究所によるバイオや生物など生命工学領域の研究事例紹介
- ・長岡技術科学大学及び長岡工業高等専門学校の研究事例紹介
- ・長岡市文書資料室による「長岡の産業の歴史と発酵文化」の紹介
- ・大原鉄工所及びJA越後ながおかによる事例紹介

#### ④ポスターセッション(市民交流ホールA隣接のホワイエで開催、詳細は裏面のとおりに)

- ・県の食品研究センターと醸造試験場も参加が決定
- ・国県の機関、市内大学・高専、日本酒・食品・農業・製造業などの市内企業がポスター展示し、発酵・バイオに関係する多彩な産学官の団体・企業が参加

(4) 参加者 200人(国県の関係機関、市内大学・高専、市内企業、市関係部局等)

(5) 懇親会 会場:吉乃川酒ミュージアム「醸蔵」(長岡市撰田屋4-8-12)

吉乃川のお酒と長岡ならではの食でおもてなし

参加者 100人

## 2 今後の取り組み

長岡市は、「コメ」を中心に農業と食品製造業が盛んで、食品製造に関連する機械を作る企業もあり、発酵・バイオ産業の層が厚い地域です。今回のシンポジウムの開催を契機に関係者によるイノベーション・ハブを立ち上げ、発酵・バイオ技術を活かした産業創出と地域循環型社会の実現を目指し、取り組んでいきます。

〔 問い合わせ： 産業イノベーション課 電話 39-2402 〕

### ポスターセッション一覧（計 17 団体 56 枚）

	発表団体	タイトル	
1	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	未利用バイオマス資源を活用した微生物もの作り ～長岡技術科学大学との共同研究の紹介～ ほか 計 20 枚	
2	長岡技術科学大学	IoT や AI 技術を駆使した次世代ものづくり ほか 計 16 枚	
3	長岡工業高等専門学校	早い・安い・巧い宝探しの方法をつくりだす ～ 微生物の統合スクリーニングプラットフォーム の開発～ ほか 計 6 枚	
4	長岡市 (新潟県、市、市内企業等)	県、市、市内企業等 計 14 枚	
	①	新潟県農業総合研究所食品研究センター	乳酸菌ウオヌマ株の雑菌増殖抑制効果
	②	新潟県醸造試験場	「尿素非生産性に伴う酵母識別 DNA マーカーを 付与した新潟清酒酵母の開発」
	③	長岡市環境部	SDGs 実現に向けた環境政策 ～生ごみバイオガス化事業の取り組み～
	④	長岡大学	酒粕で長岡を盛り上げよう！
	⑤	朝日酒造(株)	朝日酒造 日本酒ができるまで
	⑥	吉乃川(株)	パイナップル様の吟醸香を生成する新規酵母の 開発
	⑦	新潟県醤油協業組合	新潟県醤油協業組合の取り組みと課題
	⑧	JA 越後ながおか	堆肥発酵熱を活用した地域農業の振興
	⑨	(株)プラントフォーム	魚の排泄物を肥料に有機野菜を育てる循環型農 業「アクアポニックス」
	⑩	岩塚製菓(株)	米菓の製造から販売における当社の抱える課題
	⑪	(株)原信	『発酵の力で！ 廃棄物の地域循環』
	⑫	(株)大原鉄工所	日本におけるバイオガス関連事業の事例紹介
	⑬	北越コーポレーション(株)	環境に配慮した紙づくりとエネルギー生産
⑭	国際石油開発帝石(株)	I N P E X の低炭素社会への取組み (N E D O - C O 2 有効利用技術開発事業について)	